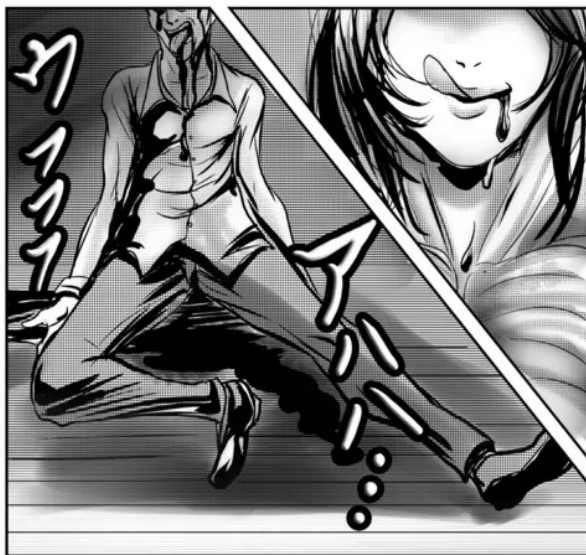
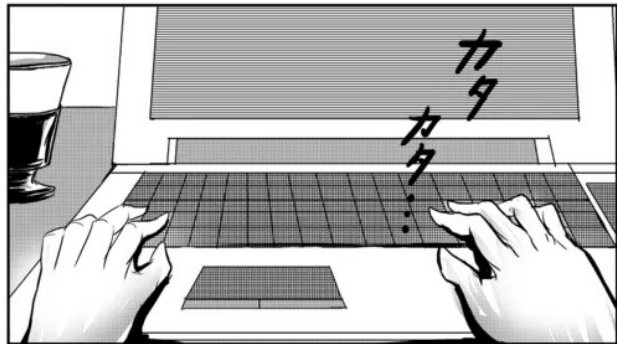


綾という女

花





挨拶を交わした女性は俺の所属部署の先輩社員にあたる女性。
結婚10年目35歳人妻。
刺すような鋭くきつい目つきは見るからに獲物を狙う肉食獣のようだが、
かなりの美人である。
その目で睨まれると何もしていないのに思わず謝ってしまいそうになる。

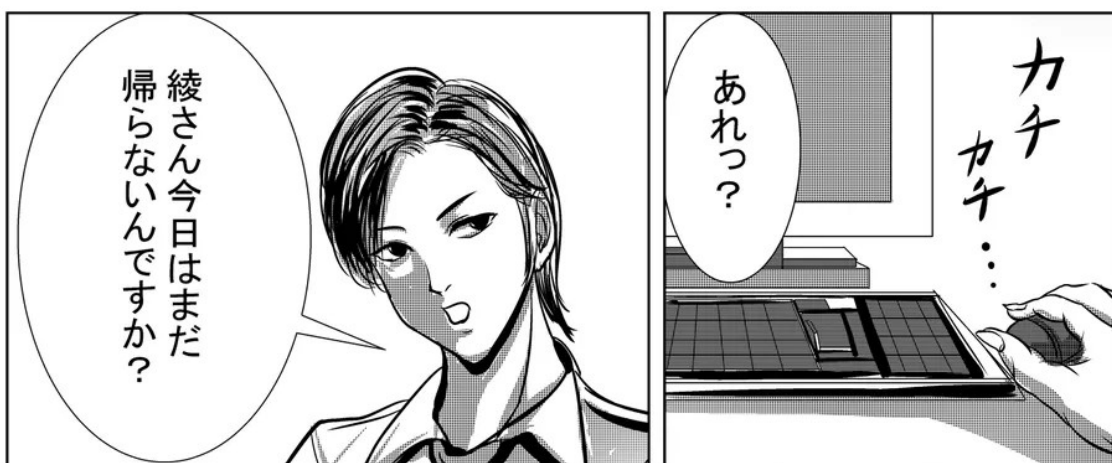
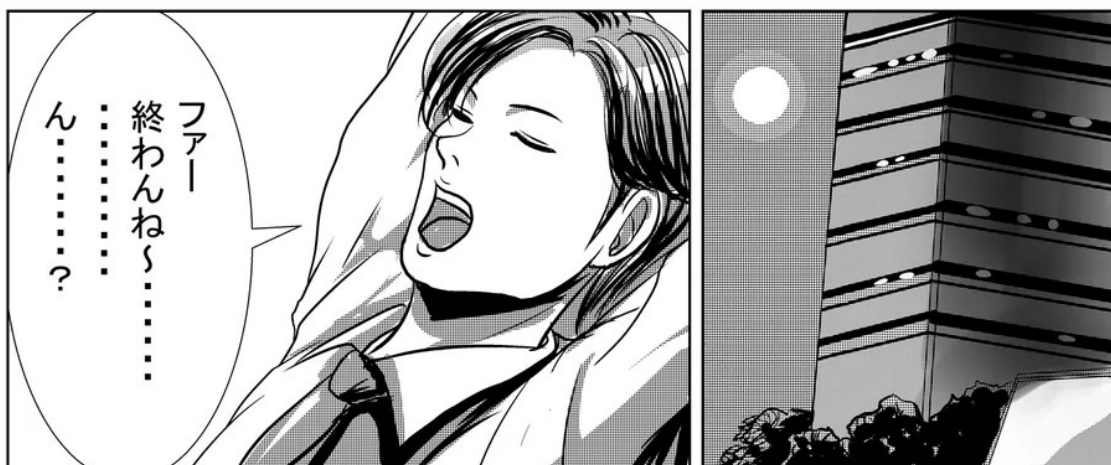
おはよう近藤君

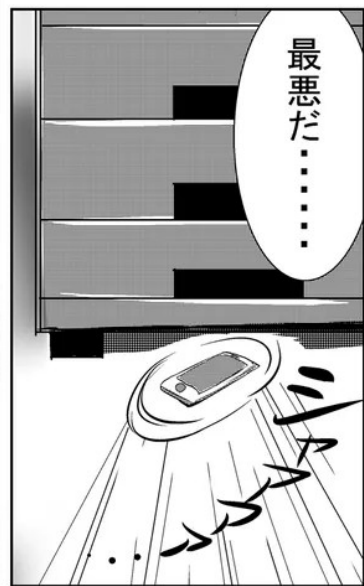
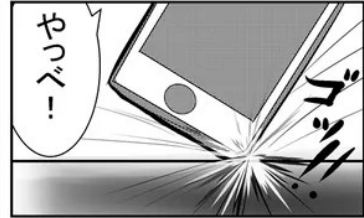
そしてその身体は女性にしては超長身で190センチ以上もあるのだ。
圧迫感が半端ない。
しかし、その割に体型はスレンダーを通り越し、かなりの痩せ体型であるため、
体重は長身にも関わらず60キロ程と思われる。
彼女の名前は綾。
年齢を感じさせない美しいミディアムヘアに少しパーマをかけている。

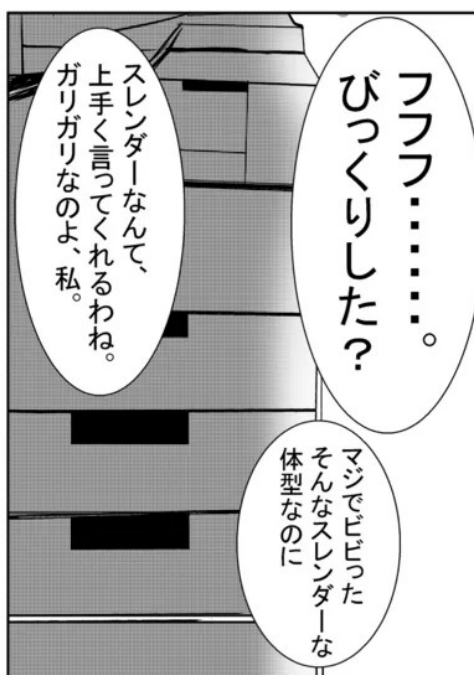
大人の色香を感じさせるその魅力は、
人妻であるにも関わらず、
小柄な女性がタイプでデカい女は嫌だと

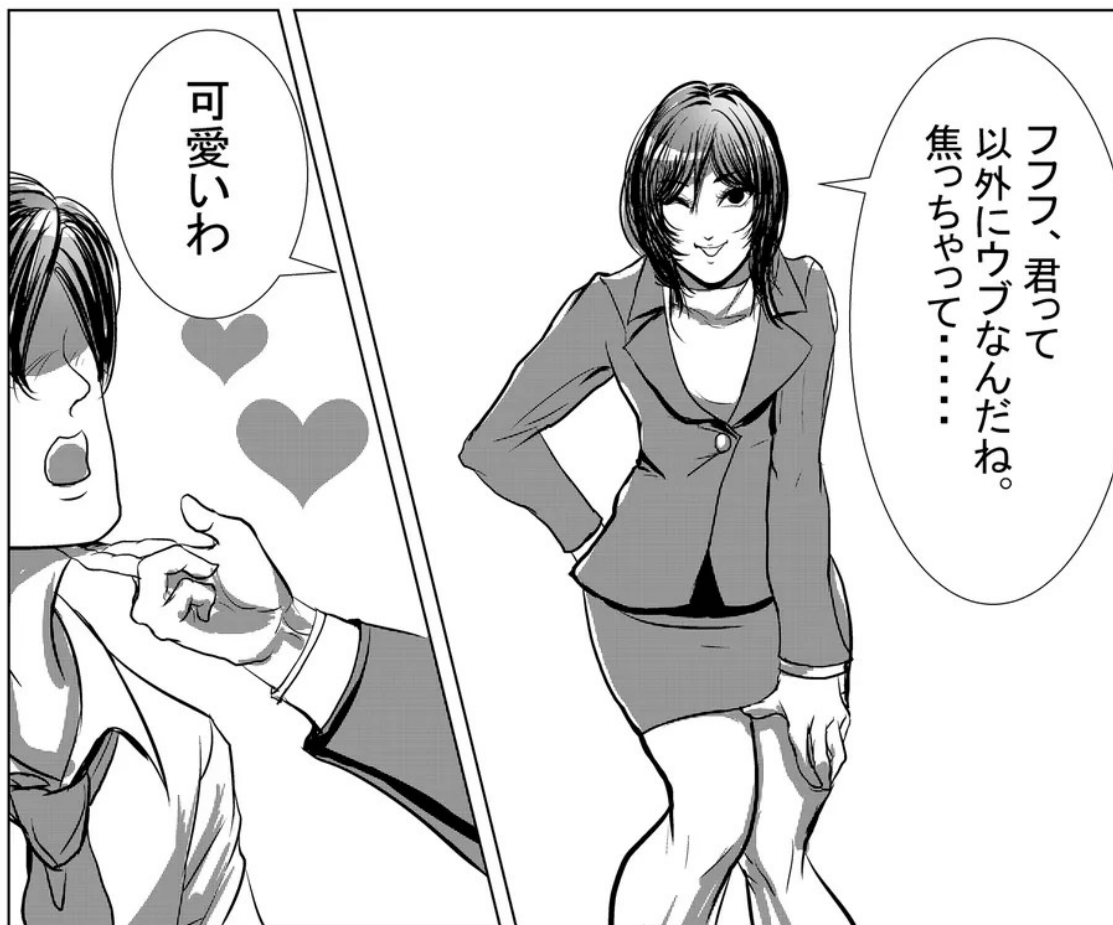
普段から吹いている
男性社員達の心すらも
鷲掴みにしていた。

綾さんホント色っぽいなあ。
人妻じゃなきゃなあゝ



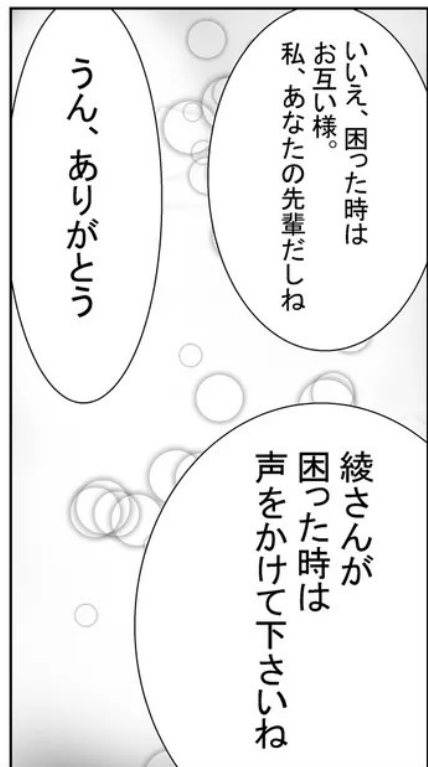


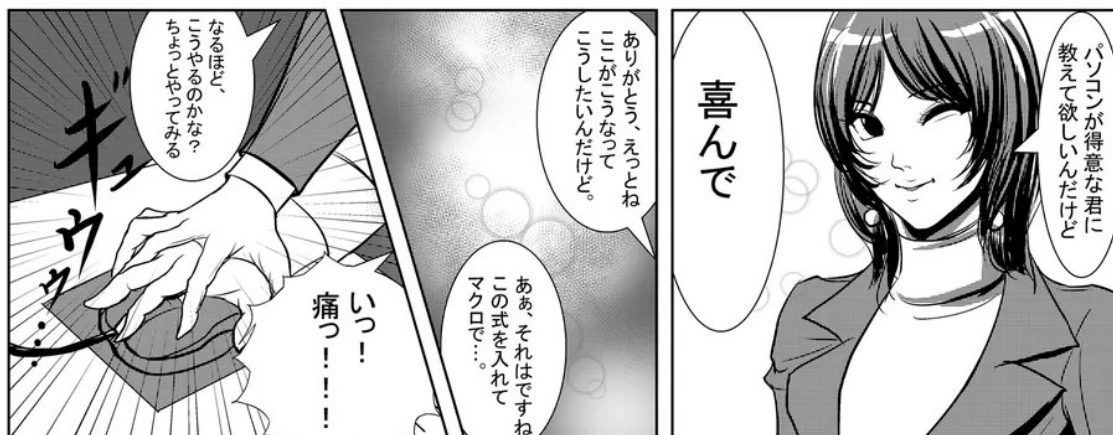


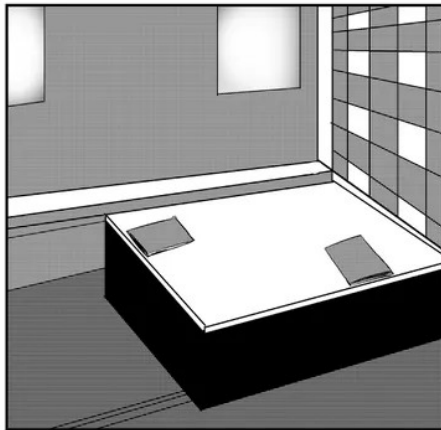


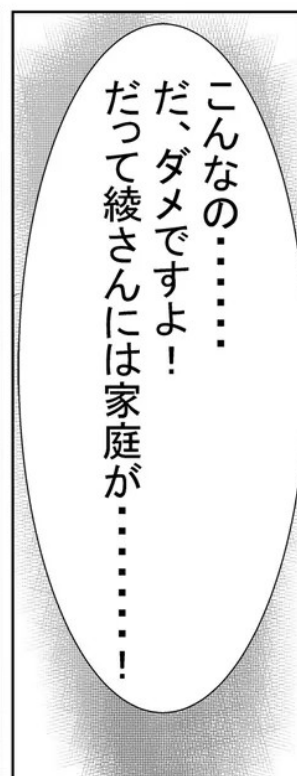
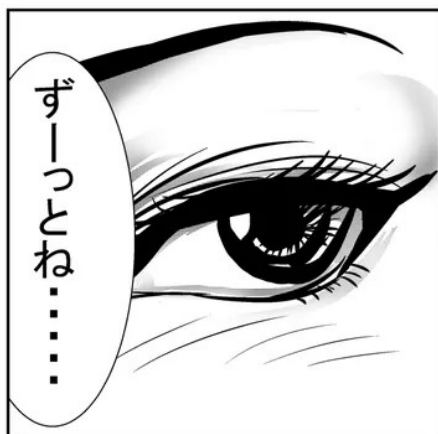


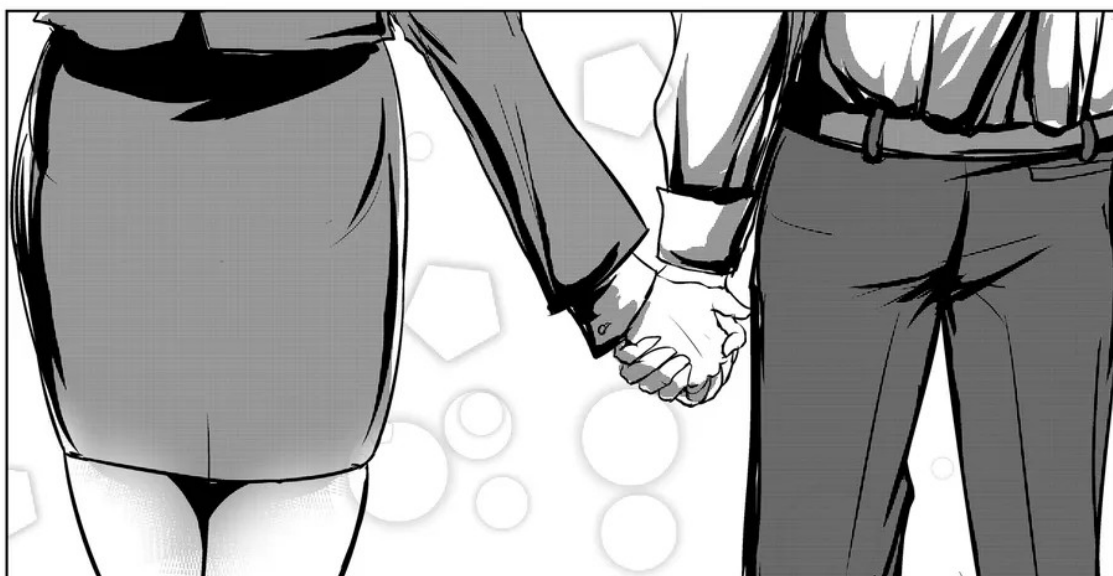
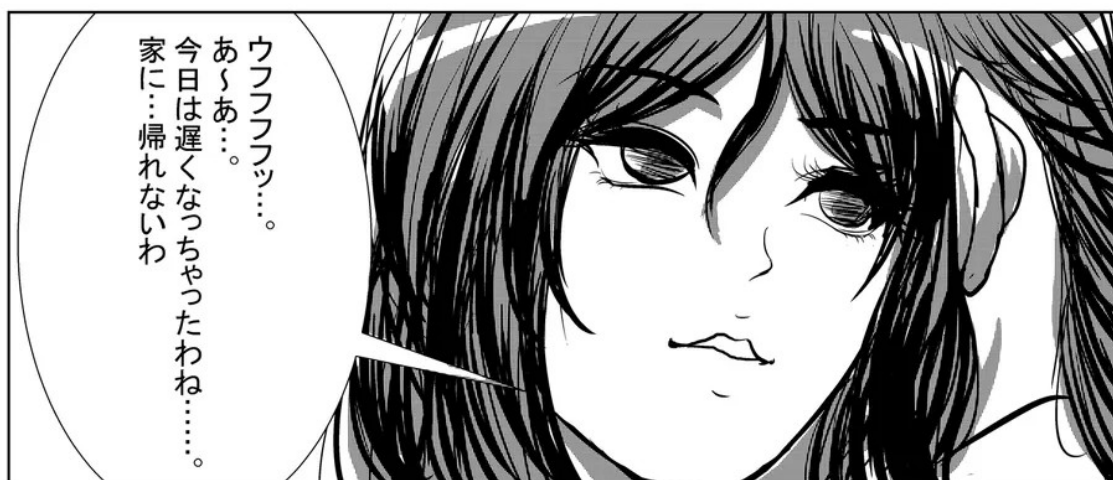
そして……その日の終業時

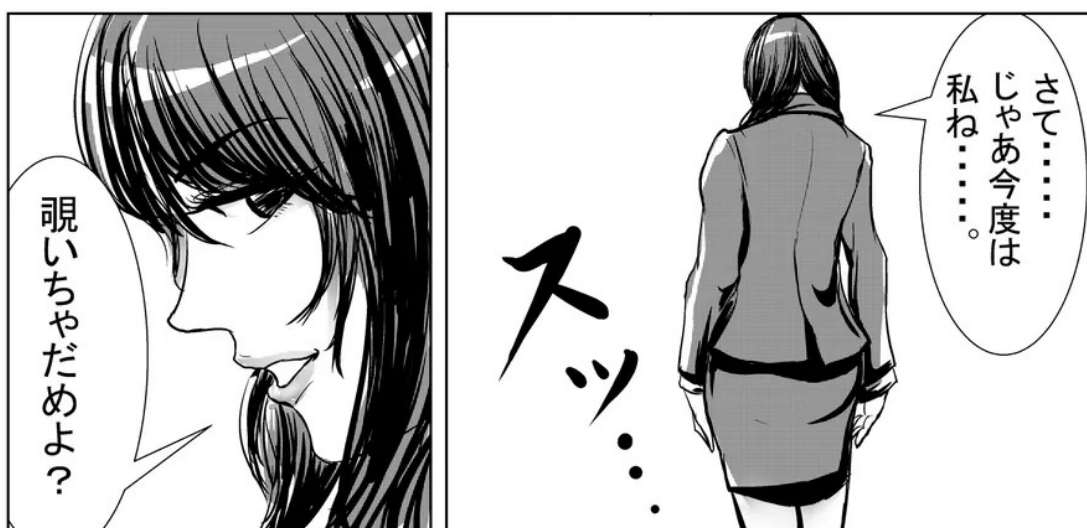


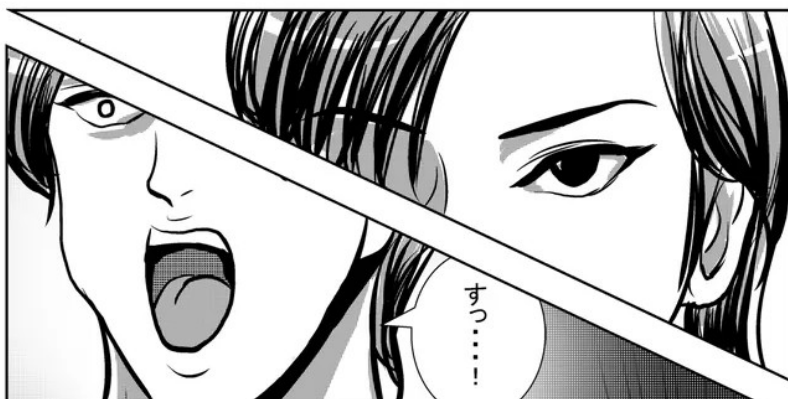






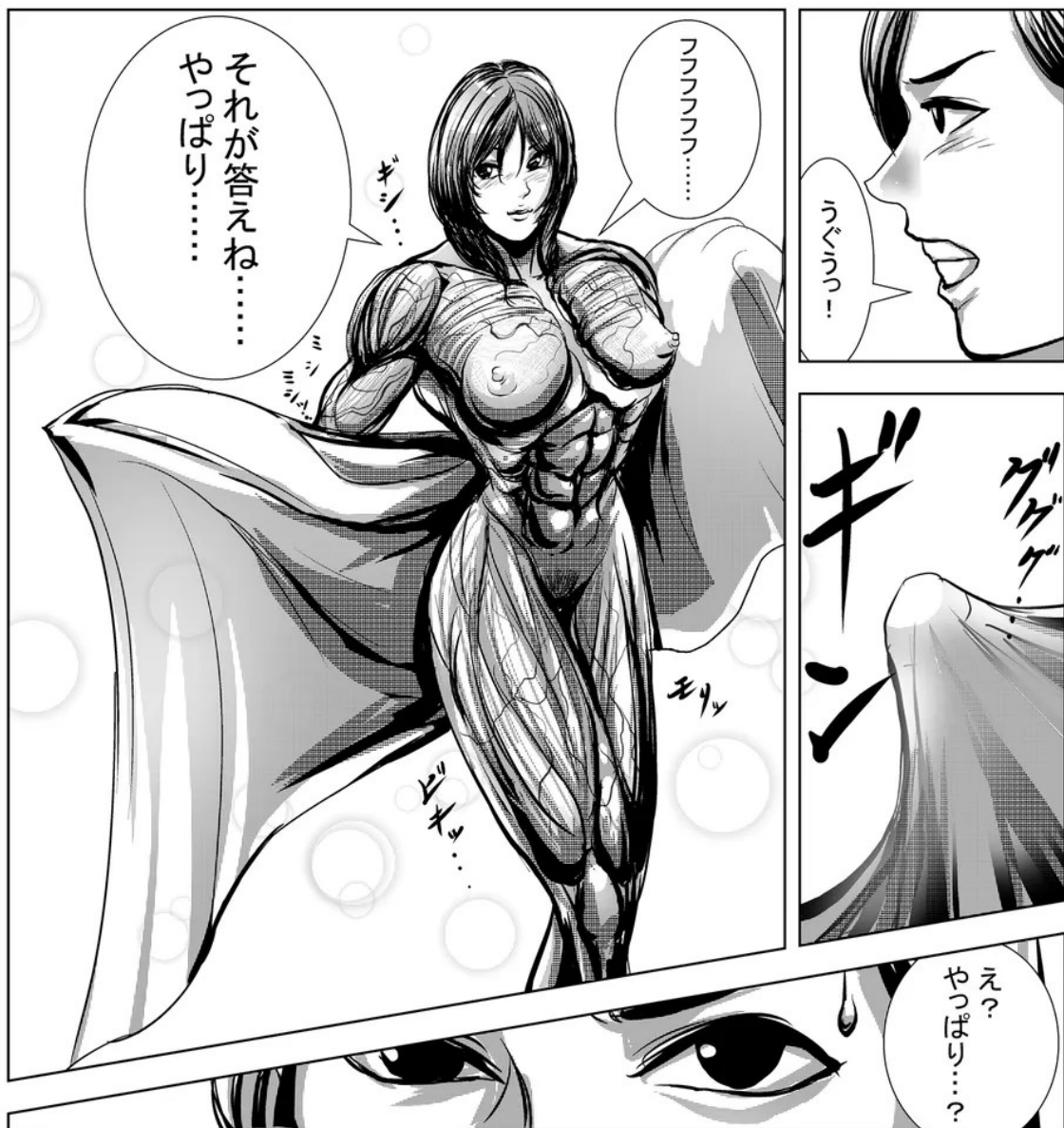


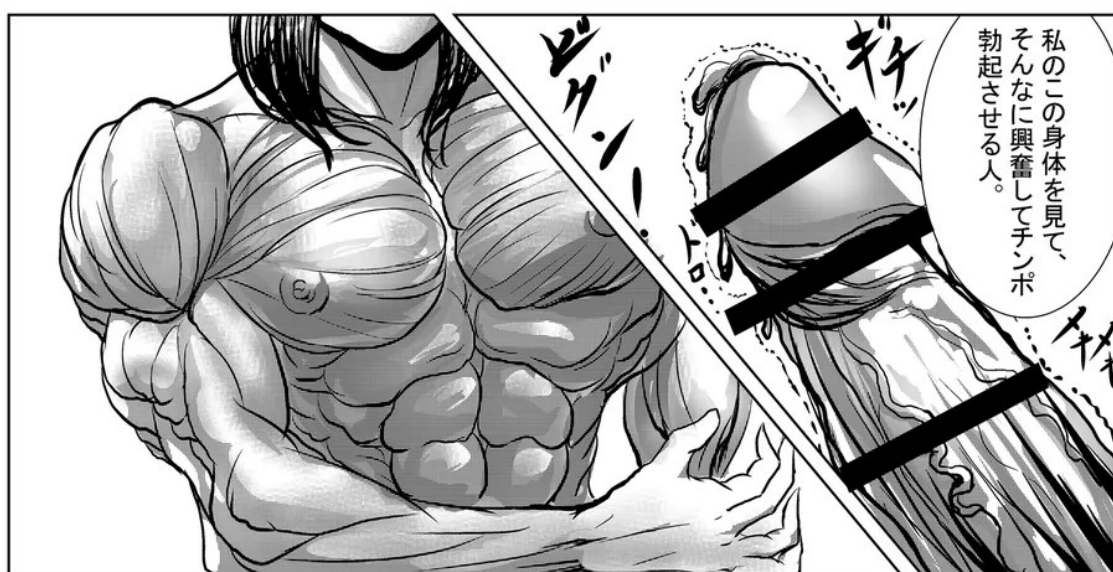
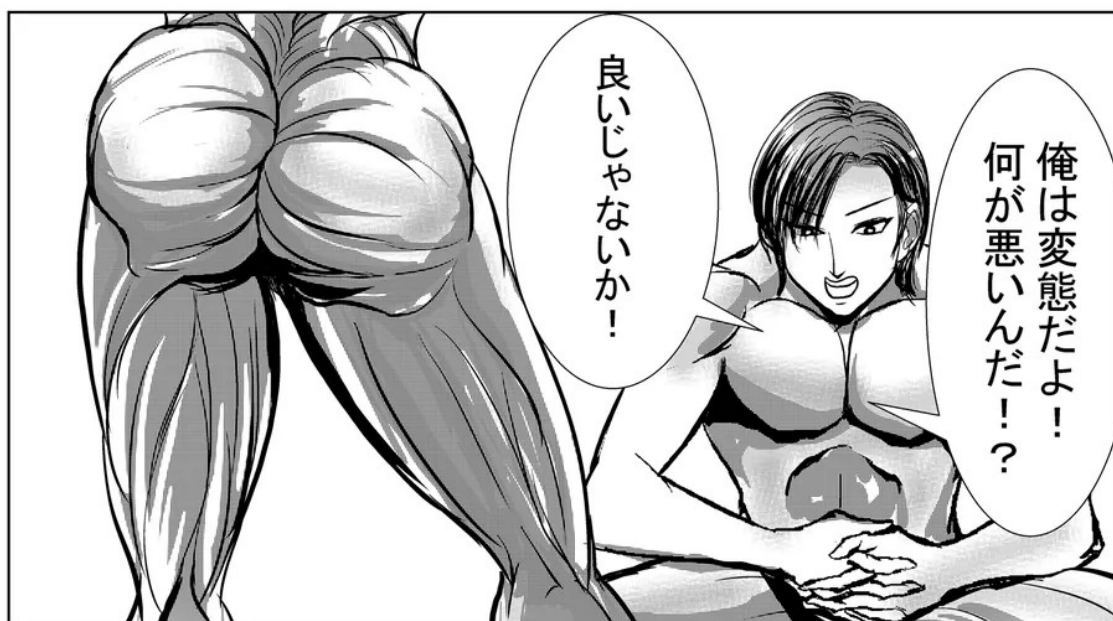




お待ちせ

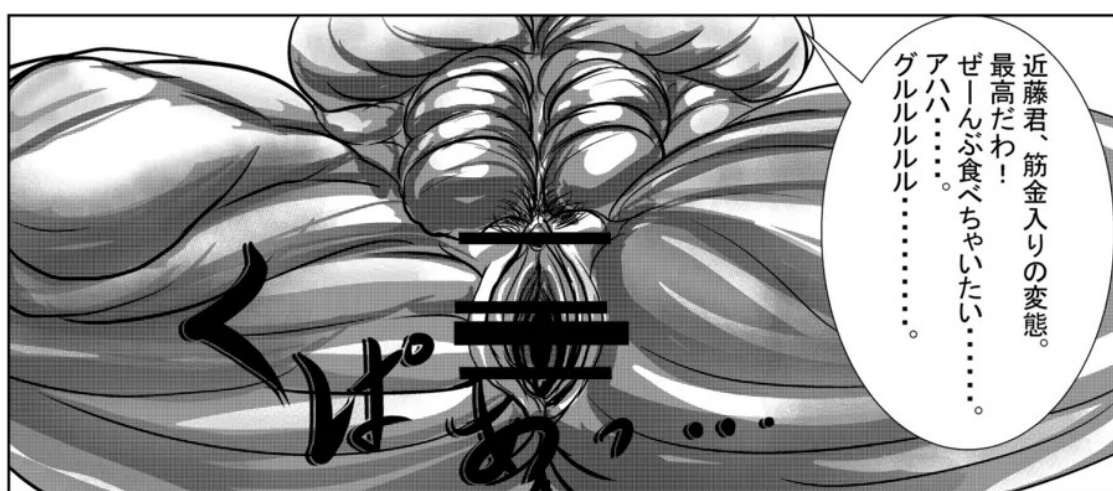














その日：翌日のチエックアウトまで寝ずにセックスをし、

さらに土曜日と日曜日は、綾の家で過ごしセックスを繰り返した。

さすがの俺も精根尽き果てたが、

綾は全く性欲が衰えない。

それどころか逆に増大していったのだった。

綾という女

花

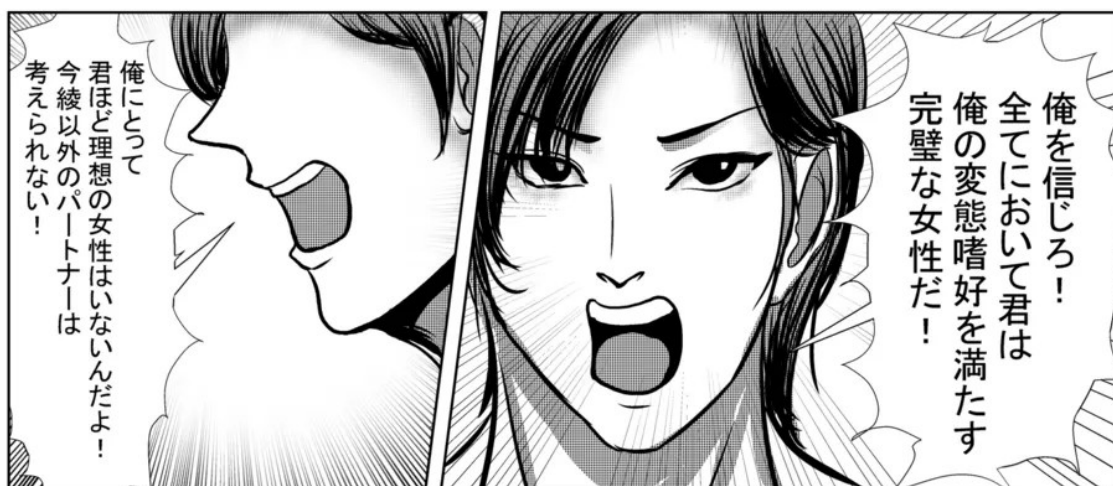
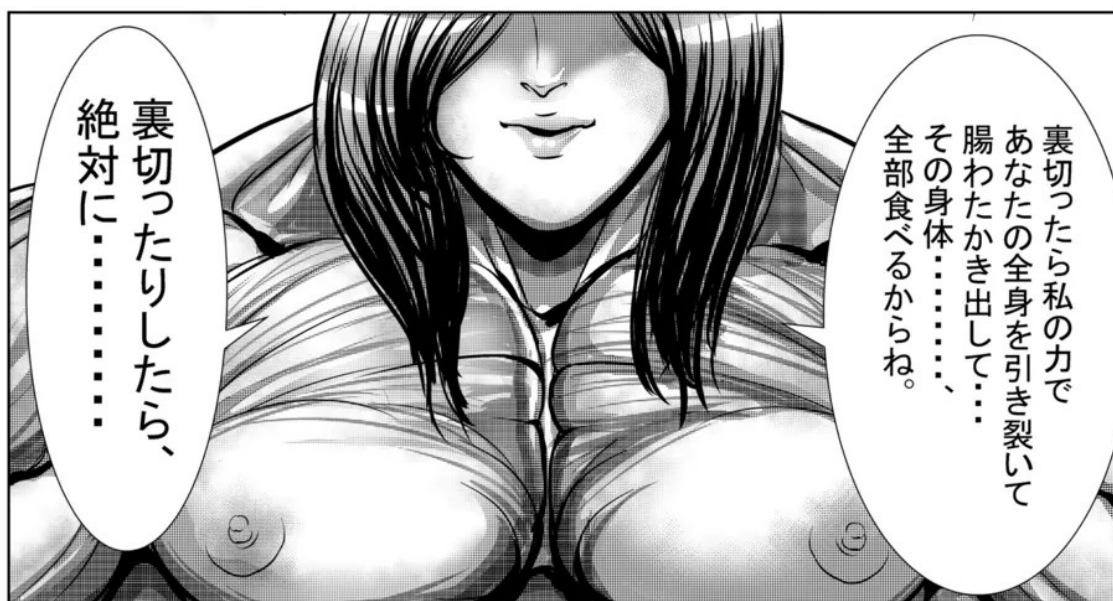
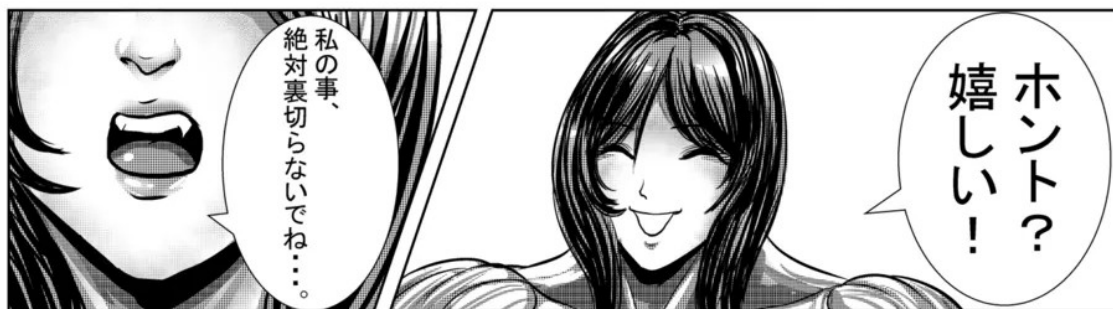




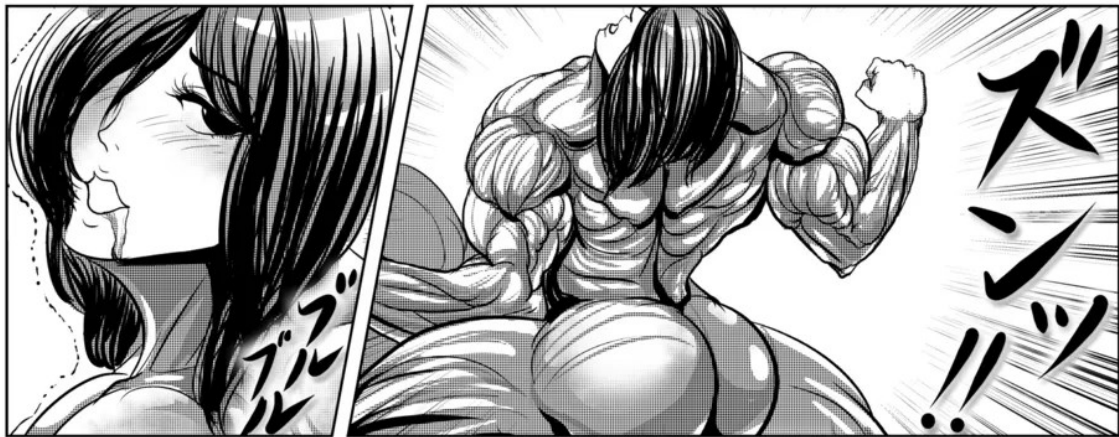
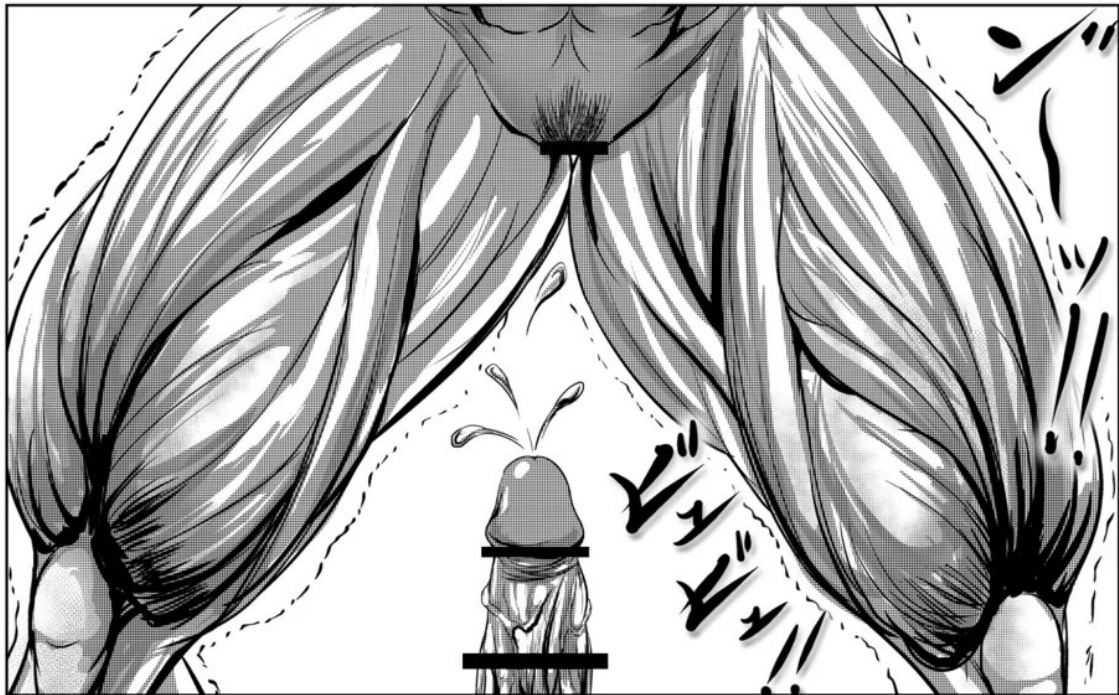












綾は離婚を決意し、
間もなくして俺と結婚する事となった。

会社には俺たちが結婚した事は伏せ、
綾は一身上の都合とし、退職した。

給料は特別高いわけでもなく、
それなりだが俺の収入だけでも
何とか生活出来る。

私、本気でトレーニングして
さらにあなたの理想の女になるわ

筋肉の化物になっても
私だけを愛してよね

ああ、筋肉の化物なんて
最高の響きだ。

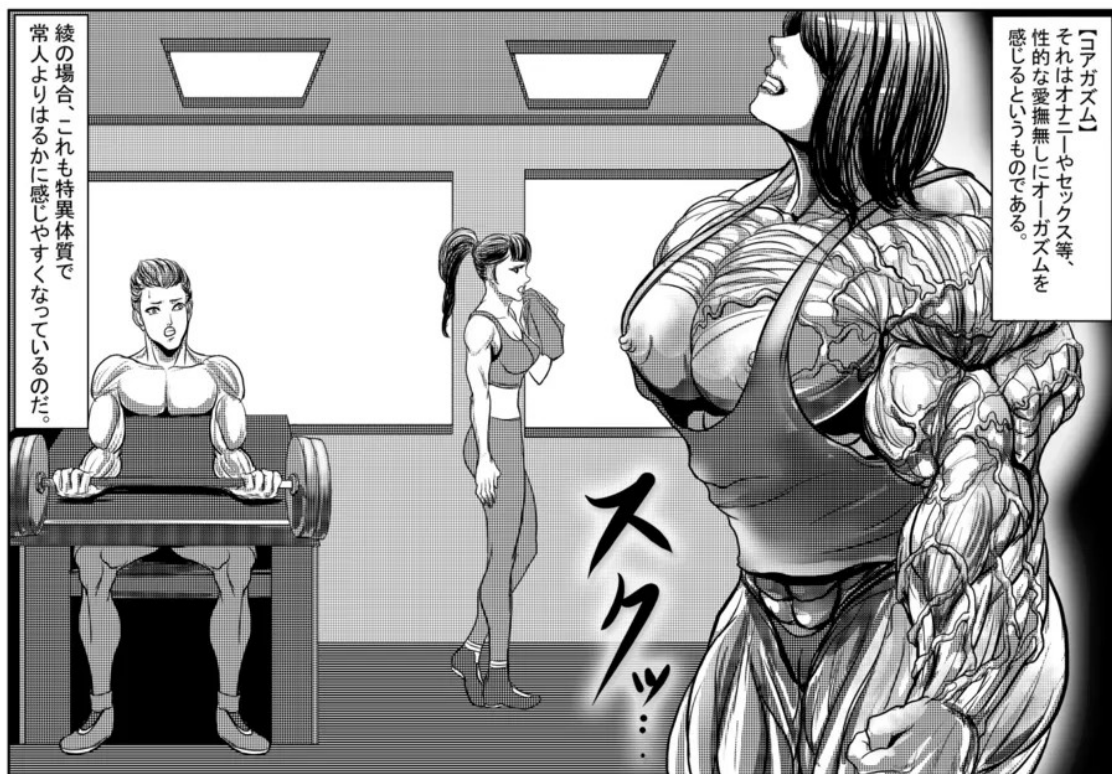
君は最高の女性だよ

綾は程なくしてトレーニングを開始した。
全く鍛えていない状態でも、
凄まじい密度の筋肉を有していた綾。
それが本気で鍛えだした事によって、
その成長速度・バルクアップのスピードは
恐るべきものだった。

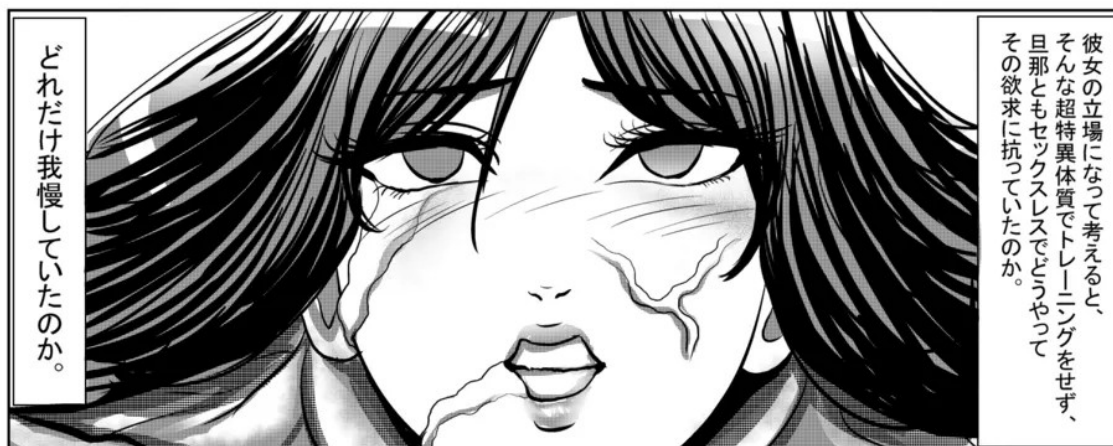
んっあぁっ!!

ぐぬっ!!

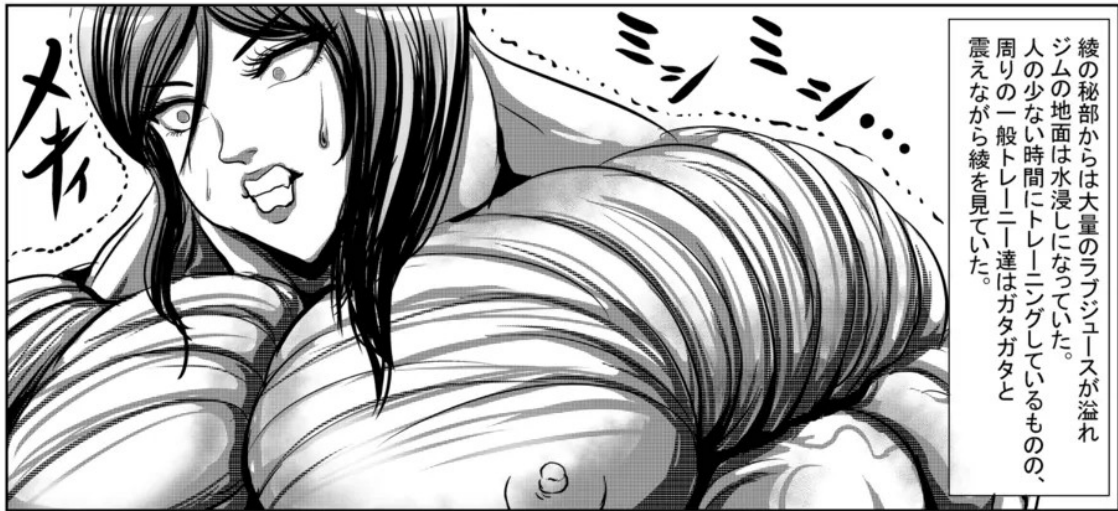












綾の秘部からは大量のラブジュースが溢れ
ジムの地面は水浸しになっていた。
人の少ない時間にトレーニングしているものの、
周りの一般トレーニー達はガタガタと
震えながら綾を見ていた。



無理もない、同じ人間とは思えない程の
筋肉を盛り上げた女が、気が狂ったように
途轍もない重量でトレーニングを続けている。
あまりの迫力に吐いてしまうもの、
驚愕して倒れるものもいた。



綾はトレーニングに集中して、
気にも留めていなかった。
俺も綾をずっと見つめていて、
周りの事など、どうでも良かった。

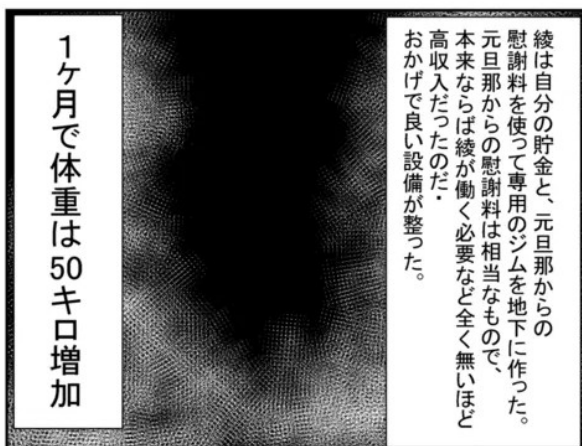
しかし、周りに誰もいない
俺たちだけの時間をもっと作りたいかった。
綾にも、もっともっと
トレーニングに集中して欲しい。

俺はちよつと無理をして
都外に移り住み、一軒家を購入した。



綾は自分の貯金と、元旦那からの
慰謝料を使って専用のジムを地下に作った。
元旦那からの慰謝料は相当なもので、
本来ならば綾が働く必要など全く無いほど
高収入だったのだ。
おかげで良い設備が整った。

1ヶ月で体重は50キロ増加



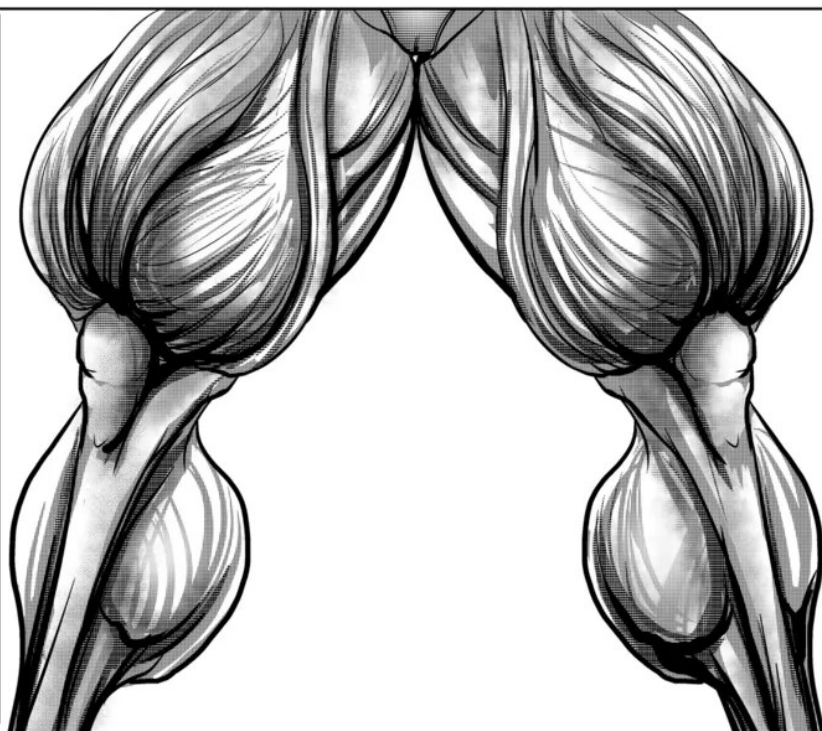
2ヶ月で70キロ



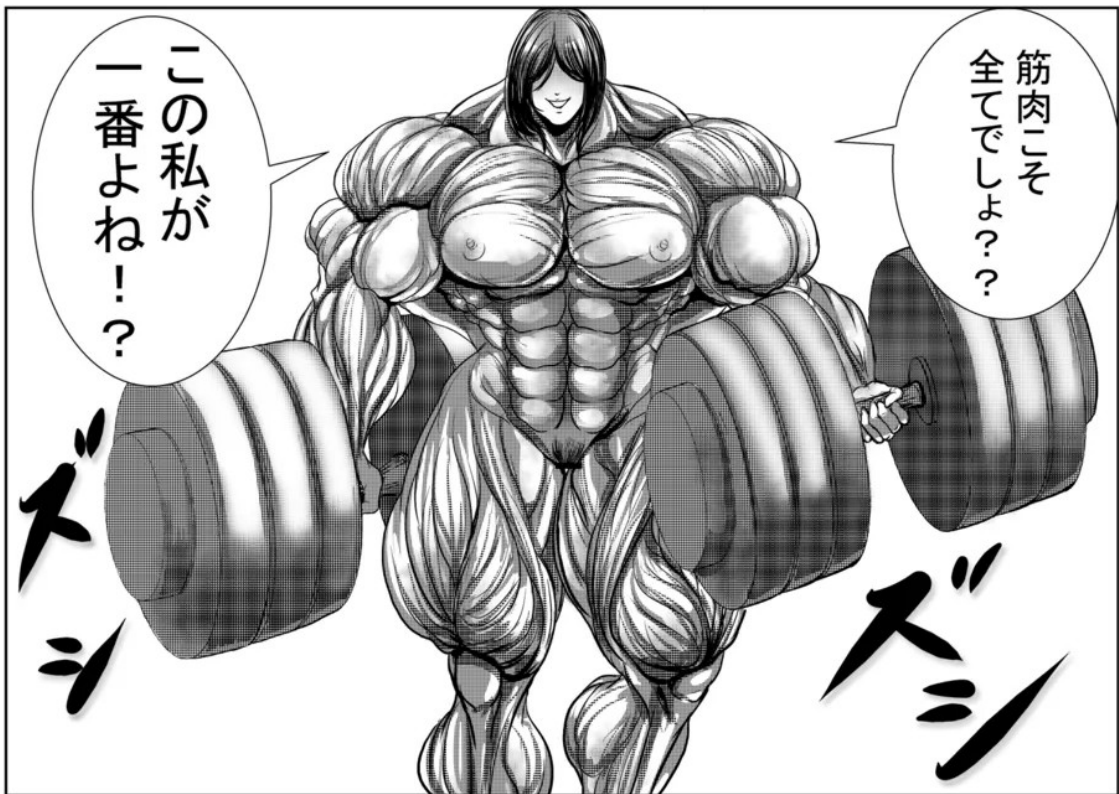
3ヶ月で90キロ

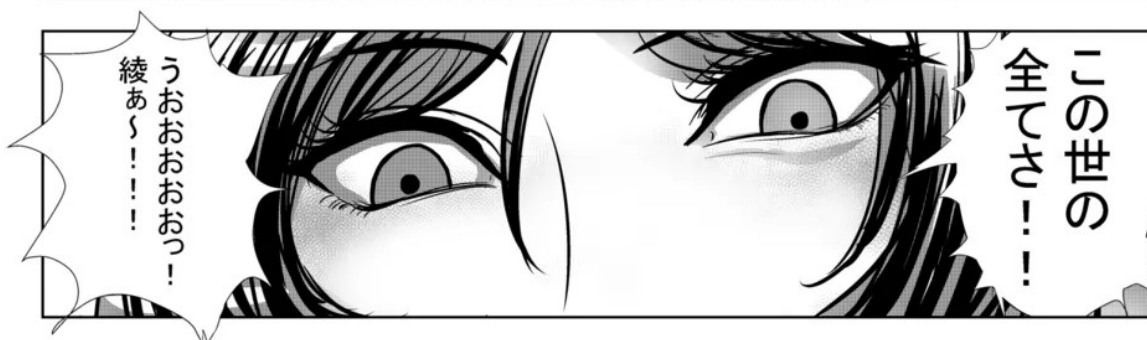


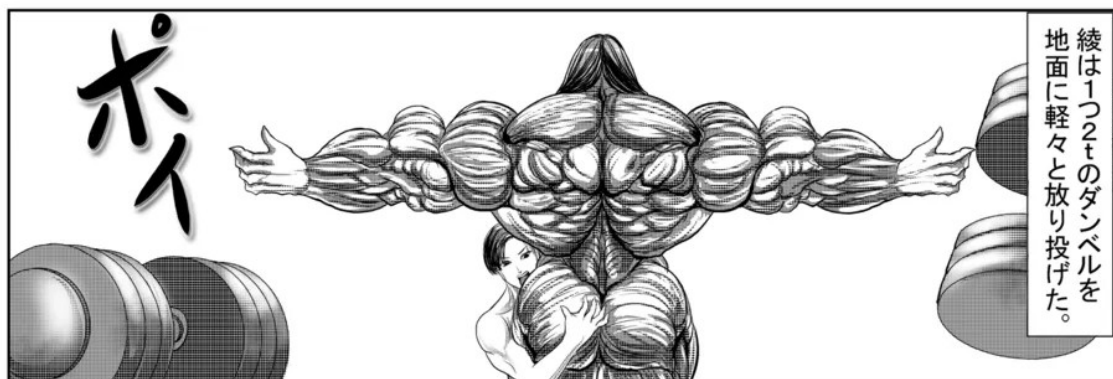
純粋な筋肉がどんどん増えていく！



たった半年で
その体重は500キロを超えていた……。







綾という女



日に日に増大していく筋肉量と恐ろしいまでの性欲。

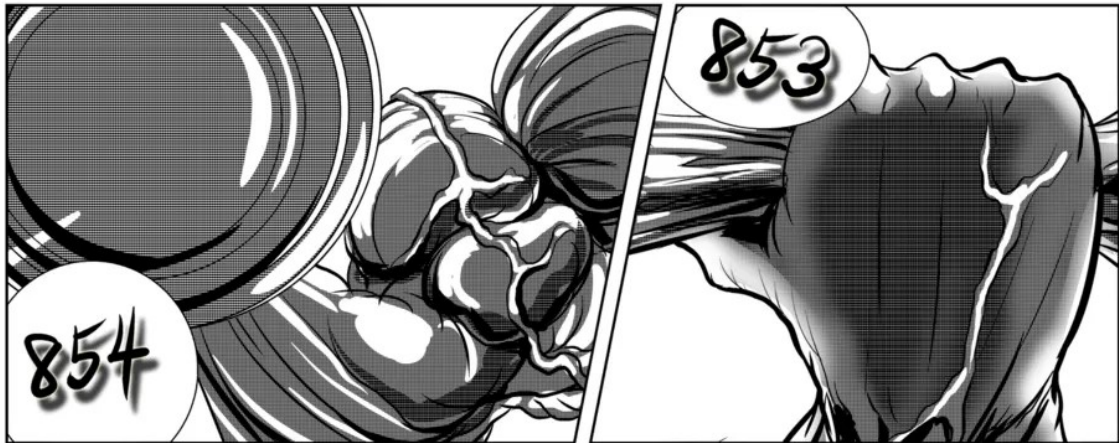
筋量が増大すると共に、

力も比例して飛躍的にパワーアップしていく。

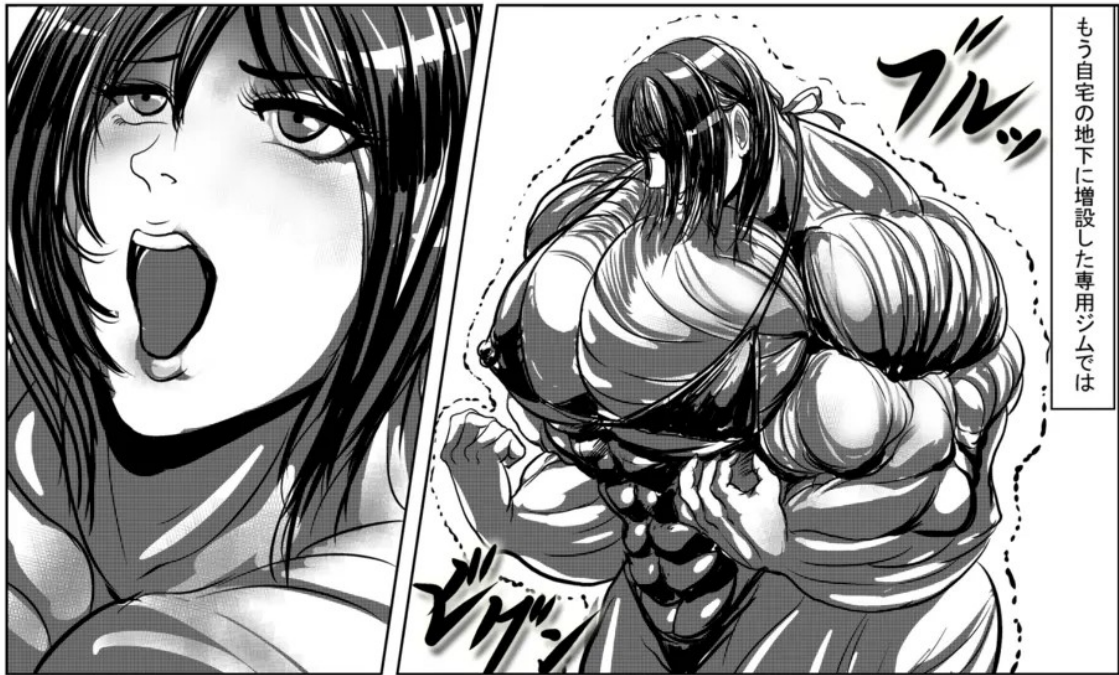
もともとトレーニングをせずとも……

細身の体型にも関わらず、

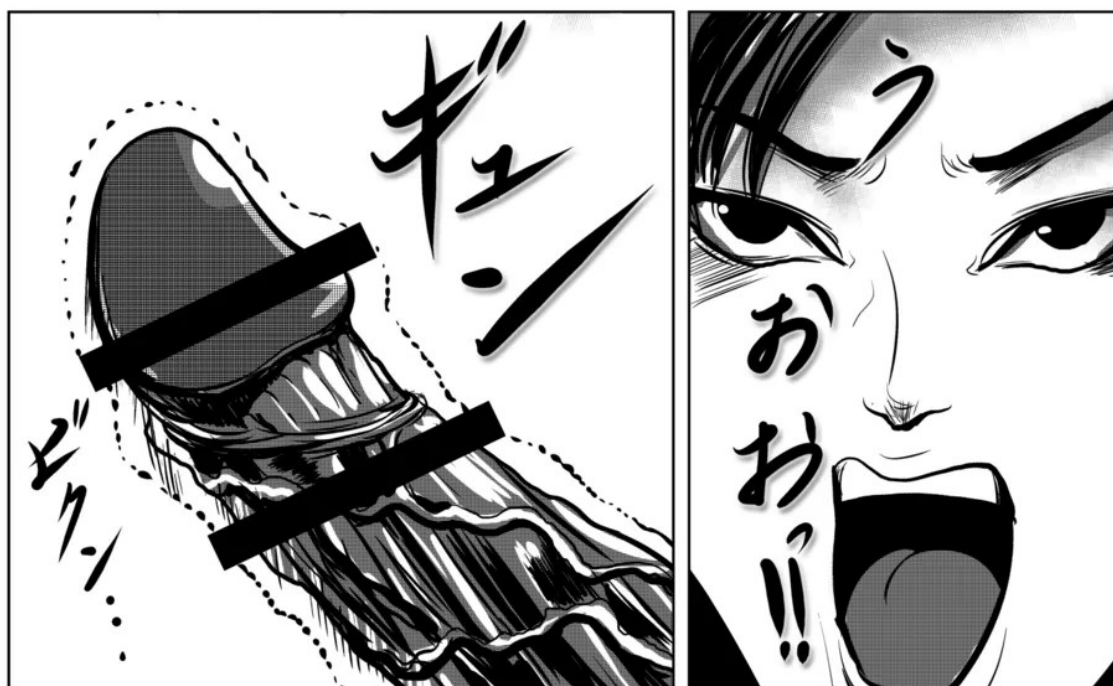
男性トップビルダー並みの怪力を有していた。





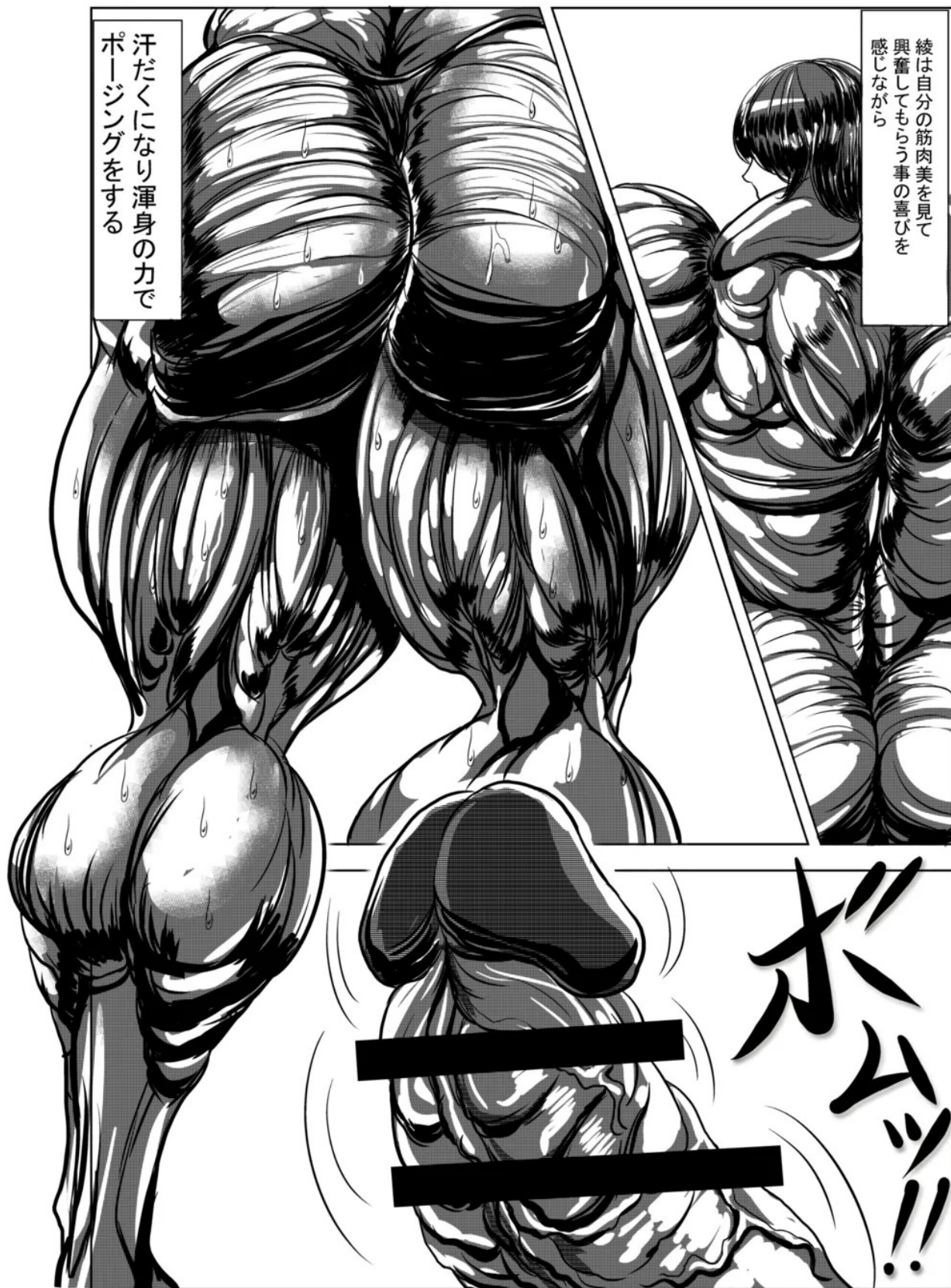






綾は自分の筋肉美を見て
興奮してもらう事の喜びを
感じながら

汗だくになり渾身の力で
ポージングをする

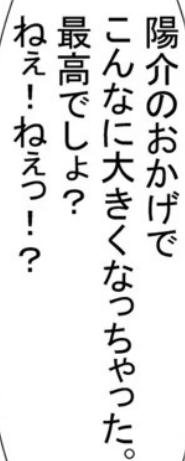
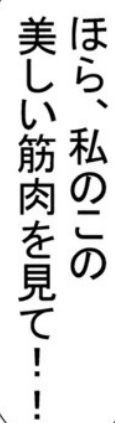














綾は家に居るとき、
一通りの家事を済ませたら
地下のトレーニングジムで
ひたすらトレーニングを繰り返す。
最高重量で7tという
綾にとっては重量不足な分、
1セット毎のトレーニングは
超ハイレップで
行う事になっている。



1000回以上続けることもある。
これは綾がヘビーコアガズムで
ある事も一つの要因だ。
もう一つはバルクアップ...。
筋肥大するにはヘビーウェイトでの
トレーニングが効果的だが、
ハイレップでのトレーニングでは
筋肥大より筋肉のスタミナが高まり、
そして筋密度を高められる傾向にある。
綾の場合、それが特にはつきりしていて
その効果も如実に出ていた。

力が溢れるう...!!
んふうん...

綾はバルクモンスターになるだけでなく、
その筋密度においても高みを目指し、
完璧で究極の筋肉の化物に
なろうとしているのだ。





こんな重さじゃ
全然物足りない。

軽すぎるわ
もつともつと
重いものを！

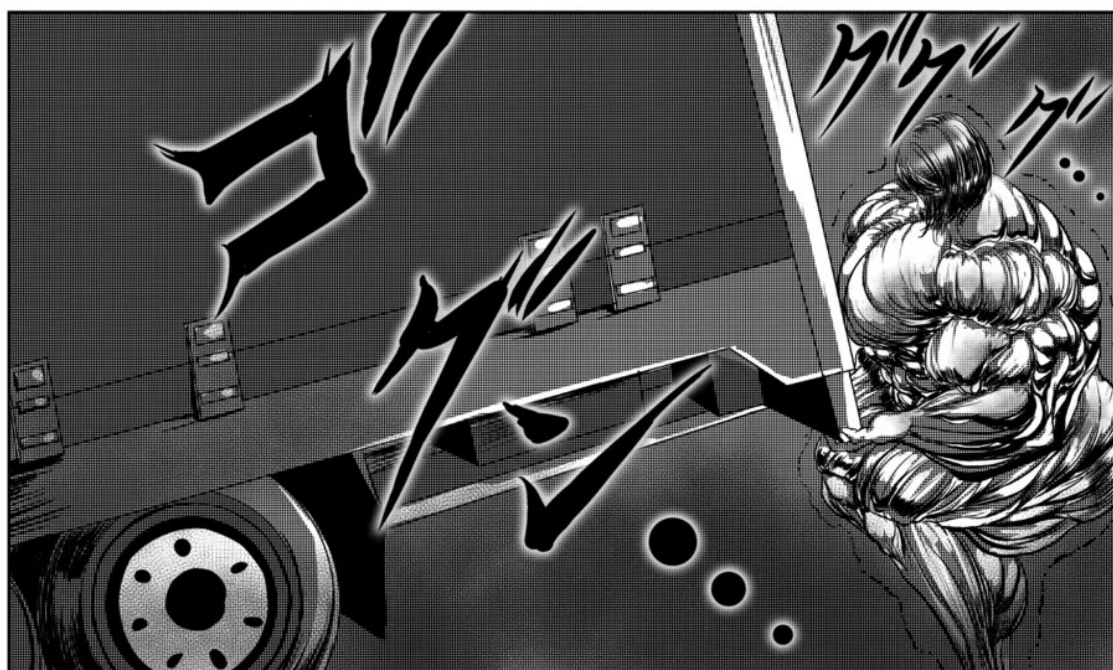
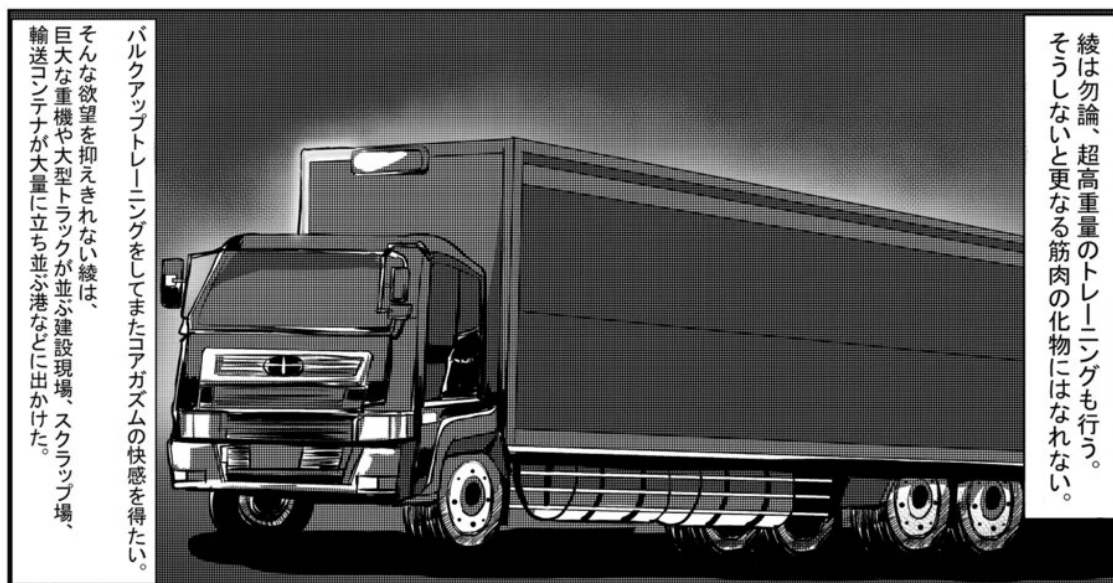
ヘリギョッ

グニャッ

それ以外の時間は、もう俺とのセックスのみである。
そうしないと、綾の異常なまでの性欲は収まりがつかないのだ。
綾と俺の地下トレーニングルームは、
毎日の狂気じみた綾のトレーニングで染み付いた
綾の膣せかえるような汗と女獣の匂い、
毎日のセックスで染み付いた精子やラブジュースの
匂いで埋め尽くされていた。

グニャッ

凄まじい匂いだ…。
常人がここに来ると意識が朦朧とするか、吐いて逃げ出すだろう。
しかし、綾と俺にとっては最高の愛と筋肉の園、エデンなのだ。







10トントラックが綾の頭上で上下している。



コアガズムの快感と
トレーニングの苦痛が少し入り混じった
複雑や表情ながらも

綾はニヤニヤと笑っていた。
性欲を解消すると同時に
100%の力を使い続ける事で
綾の心と筋肉は解放されていく。



負荷がかかる度にポコポコと
音を立てて膨張する！

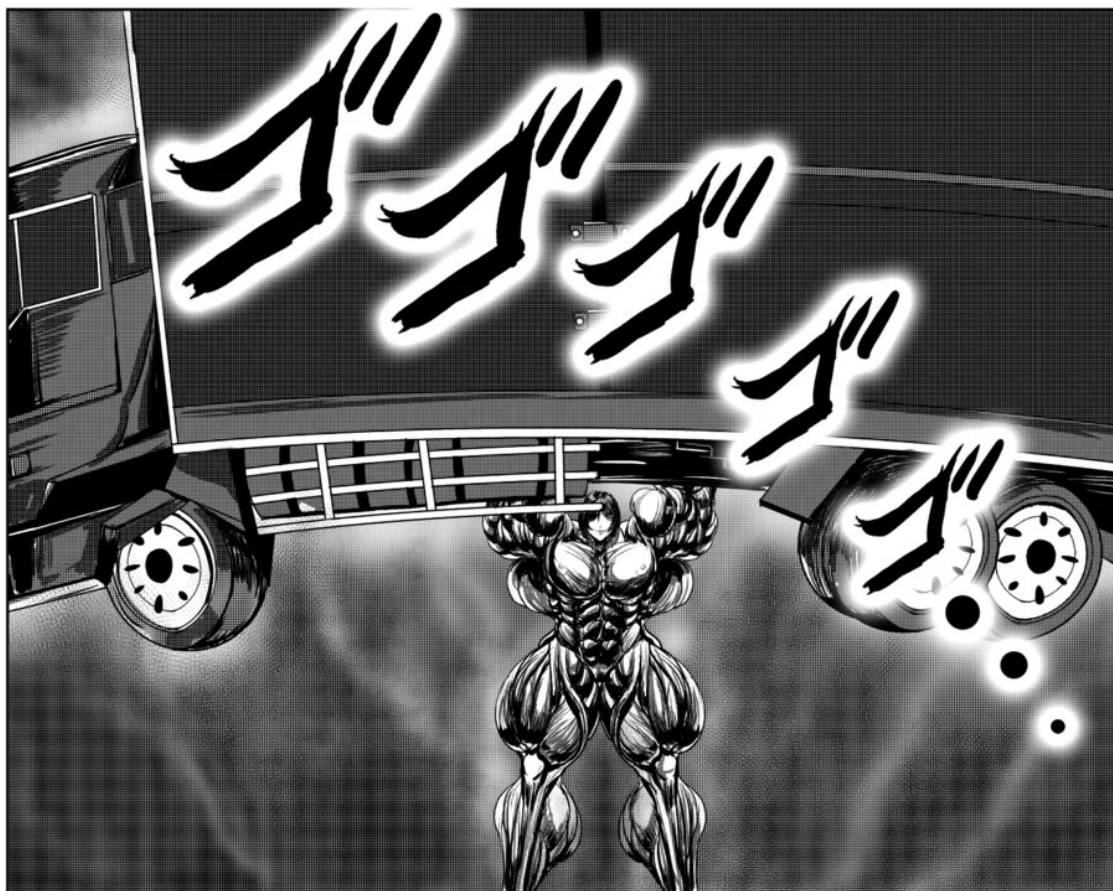


それ自体がまるで別の生き物のようにうごめく
巨大筋肉！



恐ろしい光景だ、
一般人からすれば…。





10トントラックを軽々と持ち上げ、24トンのコンテナを担ぎ、
狂氣的なトレーニングで鍛え、筋肉を風船のように盛り上げていく綾。
突き抜けるコアガズムの超快感、自由意思によるオーガズム
俺との激しいセックスで完全に発狂した綾の狂喜は、
朝になるまで落ち着くことは無かった。

本当に………

なんて危険で最高な女なんだ。